

次の100年も・・・ここに商工会!!

●第144回(平成27年度第1回)●

中小企業景況調査報告書

栃木県商工会地区

平成27年 4月～ 6月・報告

平成27年 7月～ 9月・予想



次の100年も
・・・ここに商工会

栃木県商工会連合会

目次

	頁
1. 栃木県産業全体の景況概要	3
栃木県と全国の業況D I 推移を比較・・・図1	
県内産業別の業況D I 推移を比較・・・図2	
2. 製造業の景況	4
主要景況項目の推移	・・・図3
売上額(加工高)の状況	・・・図4
採算(経常利益)の状況	・・・図5
設備投資の状況	・・・図6
経営上の問題点の状況	・・・図7
3. 建設業の景況	7
主要景況項目の推移	・・・図8
売上額(完成工事高)の状況	・・・図9
採算(経常利益)の状況	・・・図10
設備投資の状況	・・・図11
経営上の問題点の状況	・・・図12
4. 小売業の景況	10
主要景況項目の推移	・・・図13
売上額の状況	・・・図14
採算(経常利益)の状況	・・・図15
設備投資の状況	・・・図16
経営上の問題点の状況	・・・図17
5. サービス業の景況	13
主要景況項目の推移	・・・図18
売上額(収入高)の状況	・・・図19
採算(経常利益)の状況	・・・図20
設備投資の状況	・・・図21
経営上の問題点の状況	・・・図22
6. 調査対象事業所の内容	16

○D I 指数とは

本文中やグラフ中に登場するD I 値とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がり示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。

〔 調 査 要 領 〕

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況等や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。

本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目（売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り）から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区

栃木県下の10商工会地区

矢板市・下野市・うつのみや市・西方・芳賀町
壬生町・野木町・氏家・那珂川町・西那須野

○調査対象

対象企業数：上記商工会地区の150企業（1商工会15企業）

回答企業数：149企業（回答率99.3%）

○調査時点

平成27年6月1日

○調査対象期間

平成27年4月～6月期の実績及び、平成27年7月～9月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

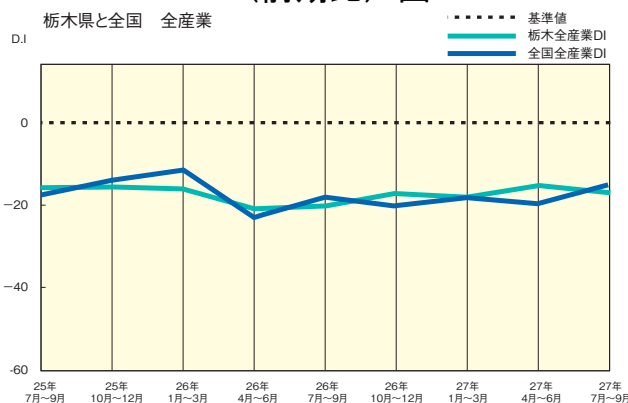
○回答企業数内訳

産 業	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	30	20.1
建 設 業	21	14.1
小 売 業	40	26.9
サ ー ビ ス 業	58	38.9
合 計	149	100.0

1. 栃木県産業全体の景況概要

〈栃木県と全国の業況D I 推移を比較〉

「全国・県内とも、低水準ながら回復基調続く」
(前期比) 図 1



今期の業況を全国でみると、D I 値は -0.9 ポイント (-17.8 ポイント \rightarrow -18.7 ポイント) と前期の水準を維持した。来期の見通しは、 $+4.2$ ポイントの改善を予想している。

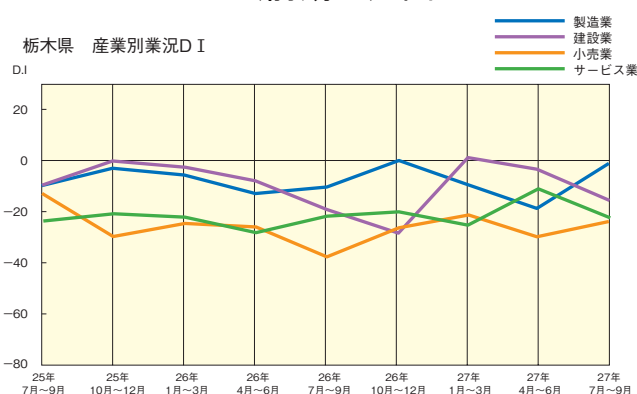
栃木県内の業況D I は、 $+3.1$ ポイント (-18.1 ポイント \rightarrow -15.0 ポイント) と改善したが、来期予想は -1.2 ポイント (-15.0 ポイント \rightarrow -16.2 ポイント) と小幅ながら悪化を予想。

今期、来期ともに、全国と県内では改善と悪化が相反する傾向となっているが、H26.4~6期以降、停滞感があるものの、僅かながら回復基調が続き、消費税率引き上げ以前の水準に戻りつつある。

※全国業況D I は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表するニュースリリースから、栃木県業況D I は、商工会議所・中小企業団体中央会が実施する中小企業景況調査を含めた値を利用してグラフ化した。それぞれの調査時点は同日である。

〈県内産業別の業況D I 推移を比較〉

「今期はサービス業のみ改善するも、傾向は業種で様々」
(前期比) 図 2



今期は「サービス業」が $+10.8$ ポイント (-23.2 ポイント \rightarrow -12.4 ポイント) と好転し、大幅な回復となったが、来期は -10.2 ポイントと転じて悪化の予想となっている。

「製造業」「小売業」は今期、悪化を示したが、来期は回復する見込みである。

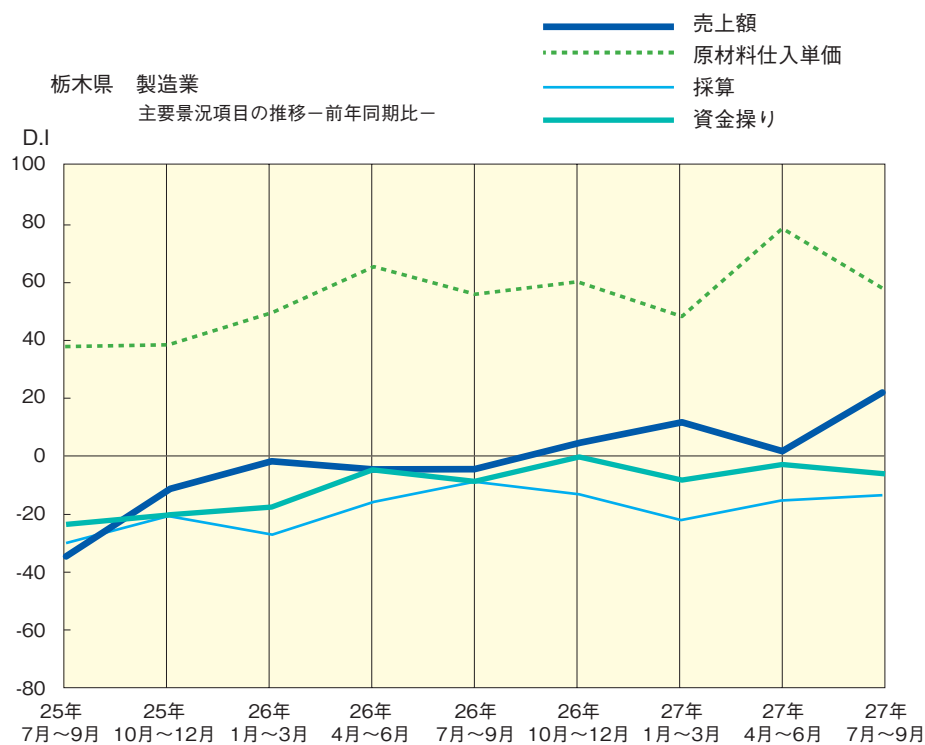
一方、「建設業」は前期、大幅な回復となったが、今期・来期とも悪化となっている。

2. 製造業の景況

—主要景況項目の推移—

「原材料仕入単価が大幅に上昇、来期は下降も依然として高水準」

製造業 主要項目の推移（前年同期比） 図3



「原材料仕入単価」は、前期+30.5ポイントと大幅な上昇になった。来期は下降を予想しているが、依然として高い水準にある。

「売上額」は今期悪化となったが、来期は+13.3ポイントと改善を予想し、プラス水準を維持している。

また、「採算」「資金繰り」についても改善傾向にある。

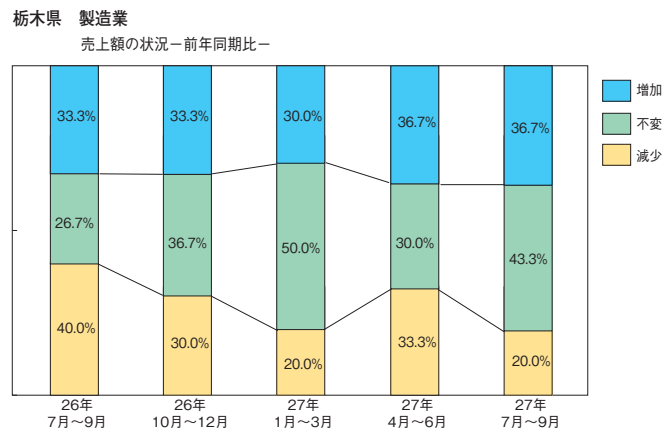
－売上額(加工高)－

売上額(加工高)の状況(前年同期比) 図4

今期D I 値の内訳は、増加企業が36.7%、減少企業が33.3%であった。

D I 値は+3.4ポイントで、前期(+10.0ポイント)に引き続きの改善となっているものの、減少企業が増加した。

来期の見通しは、売上増加と予想する企業が36.7%、減少を予想する企業が20.0%で、D I 値は+16.7ポイントとなっている。



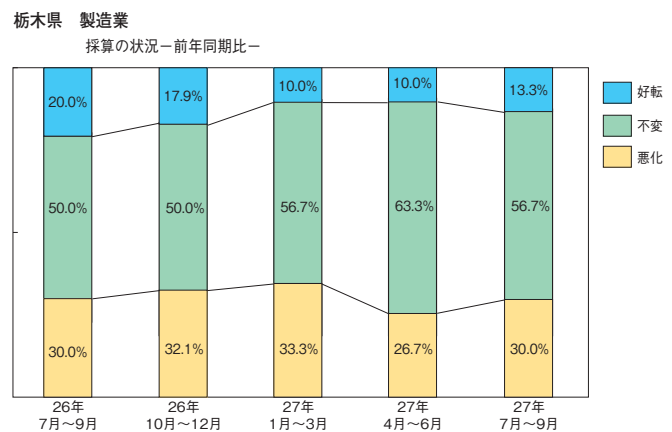
－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図5

今期D I 値の内訳を見ると、好転企業(10.0%)は変わらないものの、不変企業が6.6ポイント増加した。

D I 値は-16.7ポイントであり、前期(-23.3ポイント)より改善した。

来期の見通しは、好転を予想する企業が増加するが、悪化を予想する企業も増加するため、D I 値は前期と変わらず-16.7ポイントを予想している。

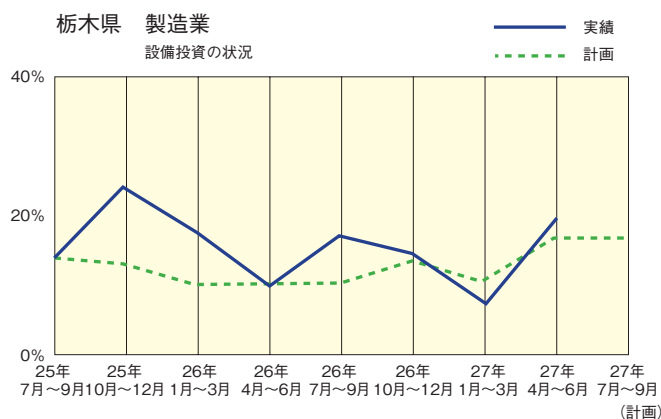


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図6

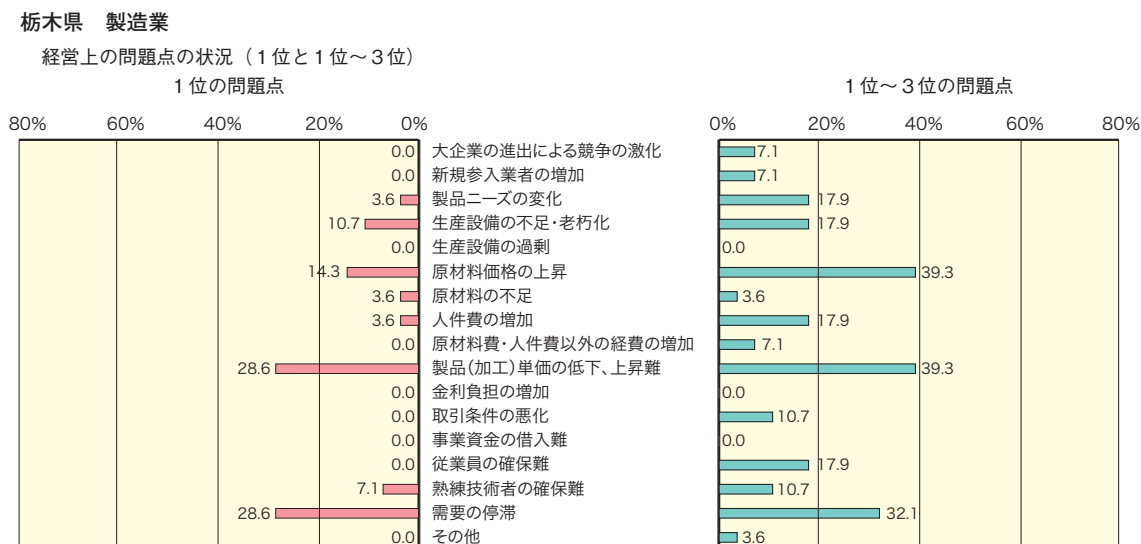
今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合が16.7%に対し、実績は20.0%と計画を上回る結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は今期同様、16.7%である。



－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図7



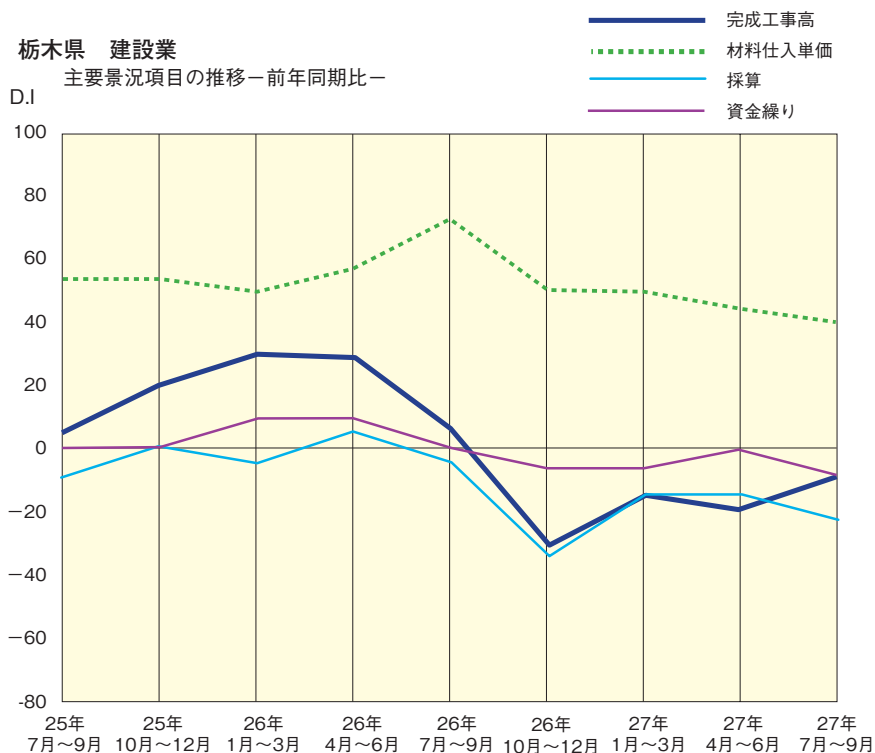
1位の問題点を見ると、「製品（加工）単価の低下、上昇難」「需要の停滞」が最も多く、同率で28.6%となっている。次いで「原材料価格の上昇」（14.3%）が挙げられている。1位～3位の問題点では、「原材料価格の上昇」が大きく伸び、「製品（加工）単価の低下、上昇難」と同率（39.3%）で1位として挙げられた。

3. 建設業の景況

－主要景況項目の推移－

「完成工事高は悪化したが、来期は回復を予想」

建設業 主要項目の推移（前年同期比） 図8



「売上額（完成工事額）」は、前期比－4.9ポイント（－14.2ポイント→－19.1ポイント）と悪化した。「材料仕入単価」「採算」「資金繰り」については改善傾向を維持しているものの、依然として厳しい状況となっている。

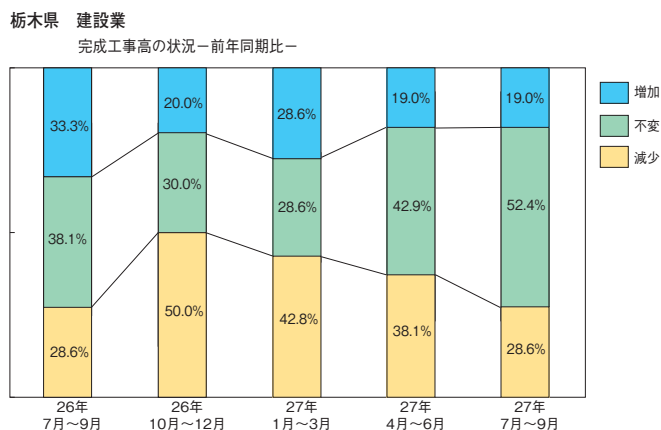
来期の見通しは、「売上額（完成工事額）」が改善（＋9.5ポイント）、「材料仕入単価」が低下（－4.8ポイント）を予想しているものの、「採算」「資金繰り」は、悪化に転じると予想している。

－売上額(完成工事高)－

売上額(完成工事高)の状況(前年同期比) 図9

今期D I 値の内訳を見ると、増加企業が19.0%、減少企業が38.1%、不変企業が42.9%であった。D I 値は-19.1ポイントと悪化した。

来期の見通しでは、増加を予想する企業が横ばい(19.0%)であるが、不変とする企業が増加(42.9%→52.4%)するため、D I 値は改善(-19.1ポイント→-9.6ポイント)を予想している。

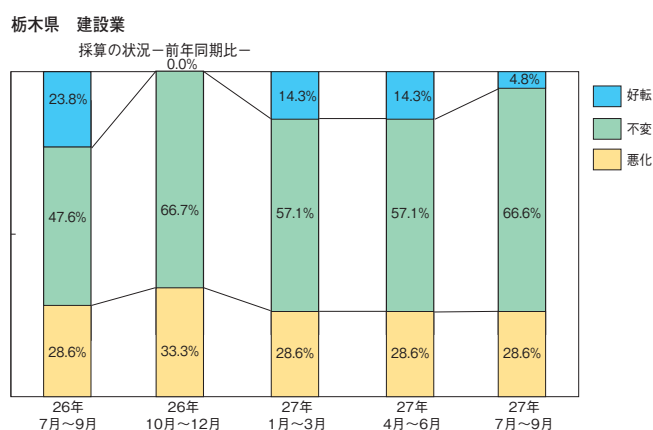


－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図10

今期は、好転企業・悪化企業とも前期と同数値を示し、D I 値は変わらず-14.3ポイントとなり、改善傾向を維持した。

来期の見通しは、悪化企業(28.6%)は変わらないものの、好転企業が減少(14.3%→4.8%)するため、D I 値は悪化(-23.8ポイント)に転じると予想している。

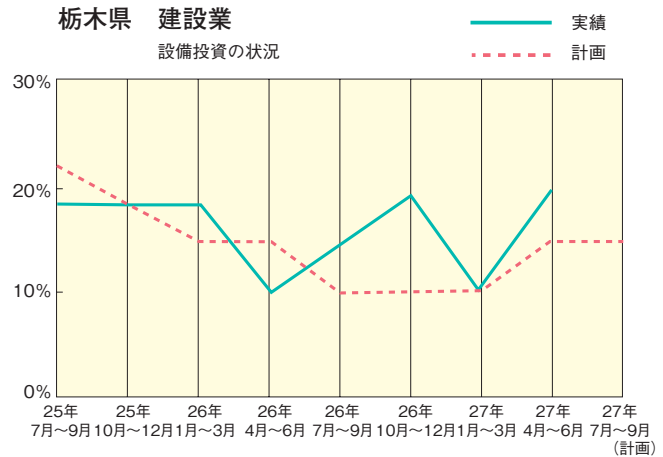


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図11

今期の設備投資の状況は、計画していた企業が14.3%に対して、実績は19.0%と計画を上回る結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は今期と同値（14.3%）である。

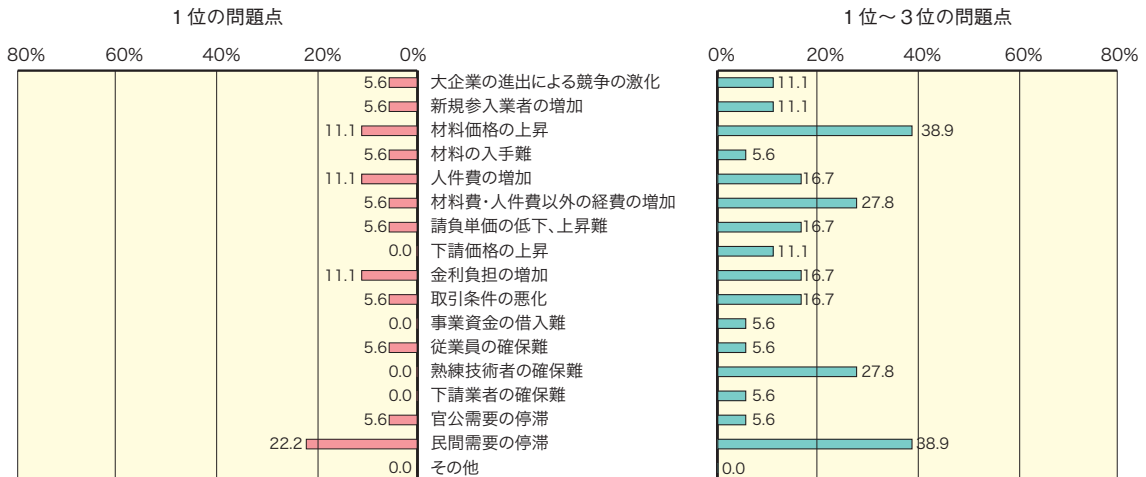


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図12

栃木県 建設業

経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)



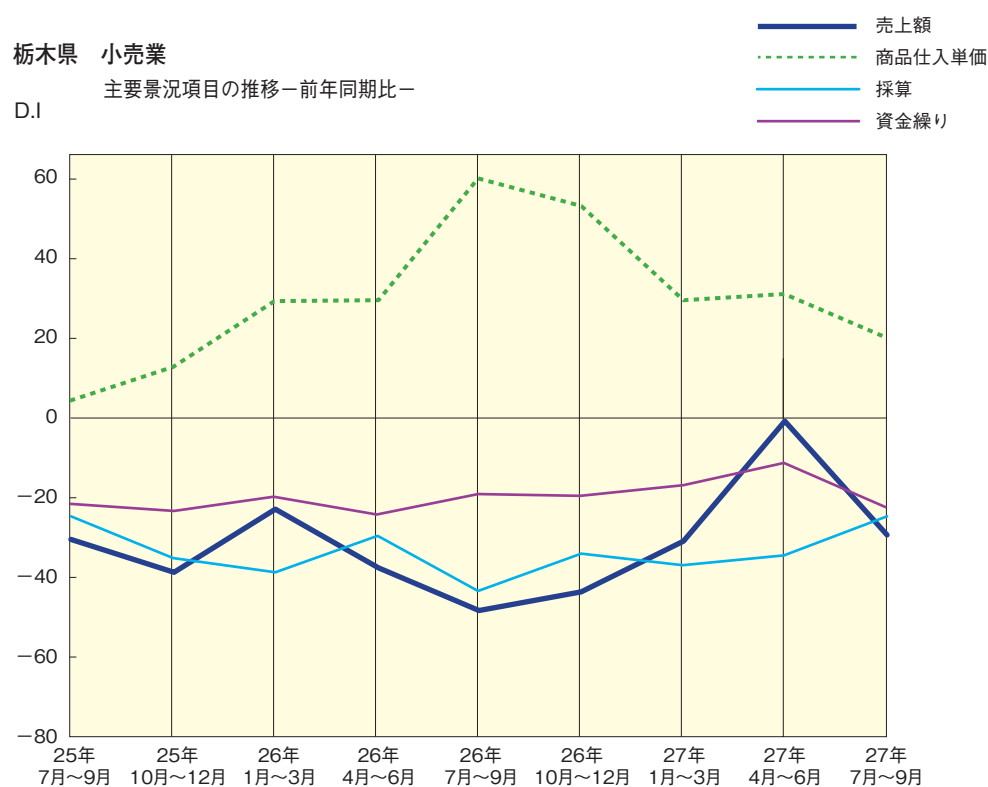
1位の問題点では、前期に続いて「民間需要の停滞」(22.2%)が挙げられており、次いで、「材料価格の上昇」「人件費の増加」「金利負担の増加」が同値(11.1%)となっている。1位~3位の問題点では、それらに加え「材料費・人件費以外の経費の増加」「熟練技術者の確保難」などが高い値で挙げられ、様々な課題に直面していることがうかがえる。

4. 小売業の景況

－主要景況項目の推移－

「今期は売上額が大幅に改善するも、来期は悪化を予想」

小売業 主要項目の推移（前年同期比） 図13



D I 値は、「売上額」が前期と比べ+30.0ポイント（-32.5ポイント→-2.5ポイント）と大幅に改善、「採算」（+6.0ポイント）「資金繰り」（+4.7ポイント）も小幅ながら改善を示し、回復傾向を維持した。

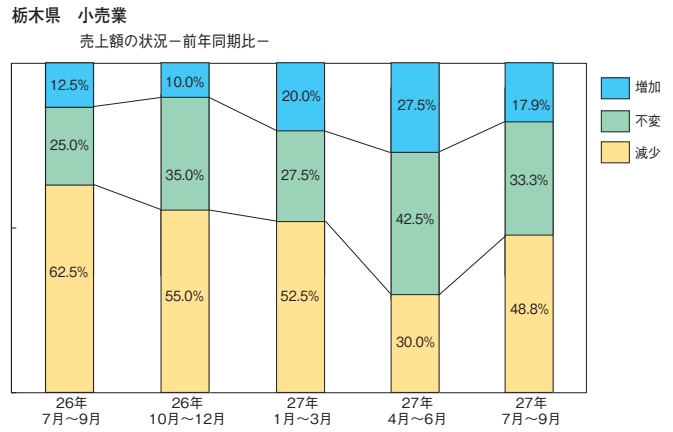
来期の見通しをみると、「商品仕入単価」「採算」は引き続き改善を示すも、「売上額」が大幅な悪化に転じ、マイナス基調が今後も続く予想している。

—売上額—

売上額の状況（前年同期比）図14

今期D I 値の内訳を見ると、売上額が増加したとする企業が27.5%、減少企業が30.0%でD I 値は-2.5ポイントとなり、前期の-32.5ポイントから大幅な改善となった。

来期の見通しは、売上増加を予想する企業が17.9%に減少し、売上額が減少するとした企業が48.8%に増加するため、D I 値は-30.9ポイントと一転して大幅な悪化となる予想である。

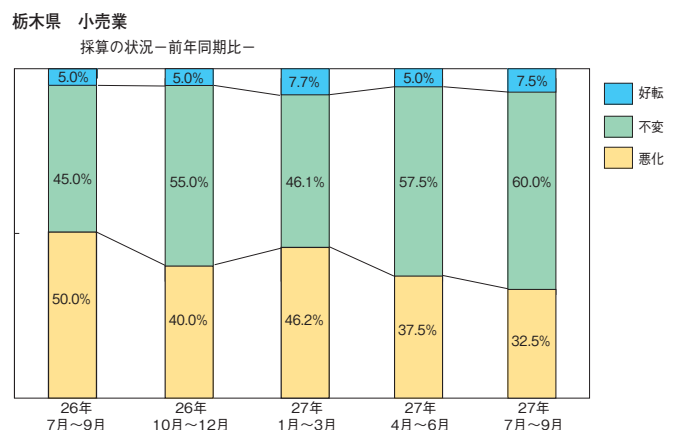


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況（前年同期比）図15

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が37.5%、好転企業が5.0%で、D I 値は-32.5ポイントと、前期(-38.5ポイント)に比べ改善したものの、依然として厳しい状況にある。

来期の見通しは、好転企業が僅かに増加し、悪化を予想する企業が5.0%減少するため、D I 値は-25.0ポイントと今期に比べ、7.5ポイントの改善を予想している。

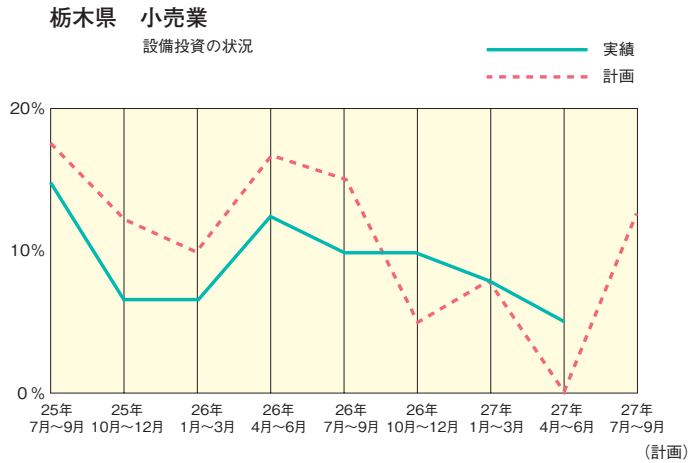


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図16

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合0.0%に対し、実施割合は5.0%と、積極的な結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は12.5%である。

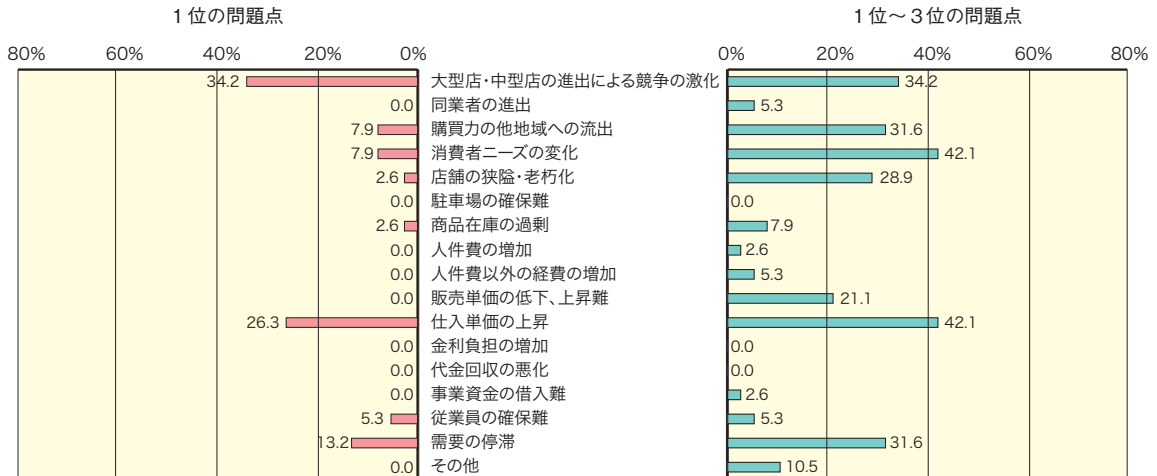


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図17

栃木県 小売業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



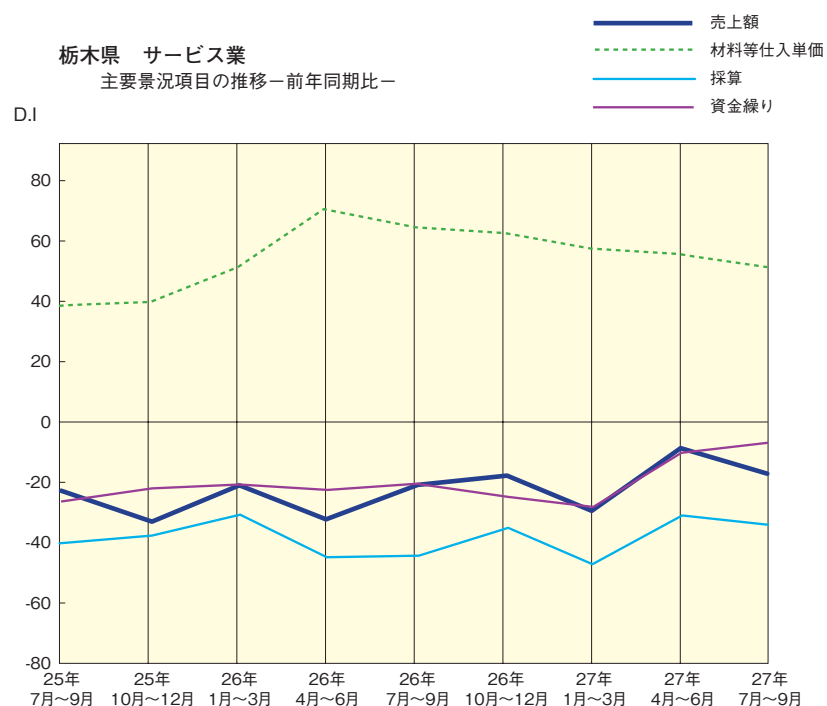
1位の問題点では、「大型店・中型店の進出による競争の激化」(34.2%)、「仕入単価の上昇」(26.3%)、「需要の停滞」(13.2%)という順で挙げられた。1位～3位の問題点では、「仕入単価の上昇」とともに、「消費者ニーズの変化」が同率(42.1%)で挙げられている。

5. サービス業の景況

—主要景況項目の推移—

「今期は各項目で改善を示すも、来期は一転して売上額、採算が悪化予想」

サービス業 主要項目の推移（前年同期比） 図18



「売上額」のD I値は前期と比べ+20.4ポイント（-29.3ポイント→-8.9ポイント）と大幅に改善した。「採算」+14.5ポイント（-43.1ポイント→-28.6ポイント）、「資金繰り」+17.2ポイント（-28.1ポイント→-10.9ポイント）とこちらも大きく改善した。

「材料等仕入単価」は+0.2ポイント（57.6ポイント→57.8ポイント）と横ばいとなった。

来期は、「売上額」のD I値が-6.6ポイント悪化（-8.9ポイント→-15.5ポイント）、「採算」についても-3.0ポイント悪化（-28.6ポイント→-31.6ポイント）すると予想しているが、「資金繰り」（+3.8ポイント：-10.9ポイント→-7.1ポイント）については前期に引き続き、改善を予想している。

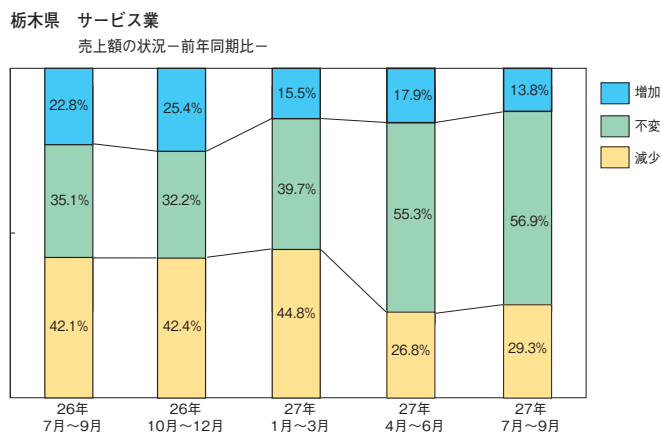
「材料等仕入単価」は、低下傾向を維持すると予想している。

—売上額(収入高)—

今期売上額のD I 値の内訳を見ると、増加企業が17.9%と前期に比べ微増であるが、減少企業が26.8%と大幅に減少したため、D I 値は-8.9ポイントと改善した。

来期の見通しは、増加を予想する企業が13.8%と減少し、減少を予想する企業が増加するため、D I 値は-15.5ポイントと悪化予想となった。

売上額(収入高)の状況(前年同期比) 図19

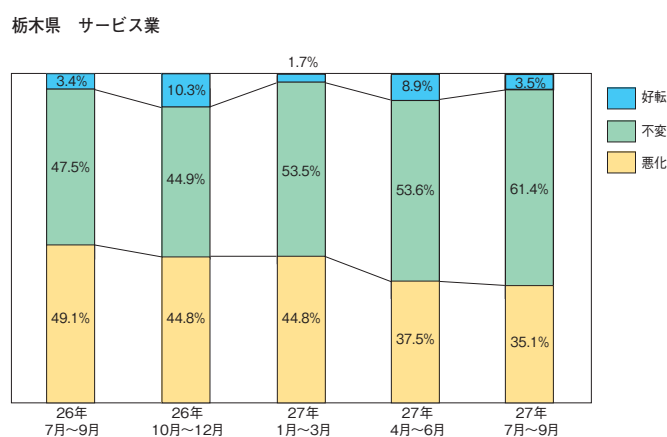


—採算(経常利益)—

今期D I 値の内訳を見ると、好転企業が8.9%と増加し、悪化企業が37.5%と減少したため、D I 値は-28.6ポイントと改善したが、依然としてマイナス水準にあるため、厳しい状況にある。

来期の見通しは、好転を予想する企業が3.5%と減少する予想であるが、不変を予想する企業が53.6%から61.4%に増加するため、D I 値は-31.6ポイントと小幅ながら悪化を予想している。

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図20

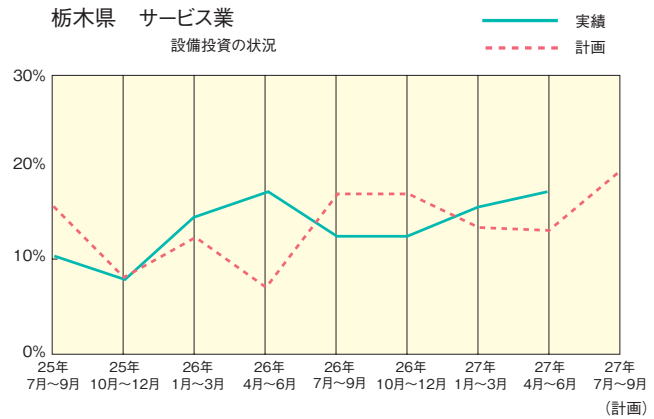


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図21

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合13.6%に対し、実施割合は17.2%となり、前期に続き計画を上回る結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は、さらに増加し19.0%となっている。

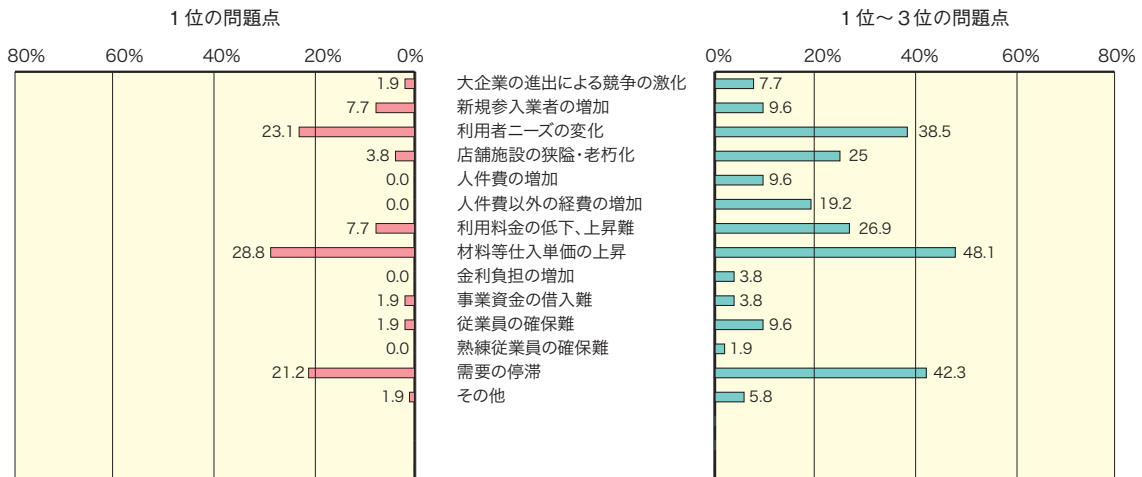


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図22

栃木県 サービス業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



1位の問題点では、前期に続き「材料等仕入単価の上昇」が28.8%でトップに挙げられ、次いで「利用者ニーズの変化」が23.1%、「需要の停滞」が21.2%で続いている。1位～3位の問題点でも「材料等仕入単価の上昇」が48.1%、「需要の停滞」が42.3%、「利用者ニーズの変化」が38.5%と同じ問題点が挙げられている。

6. 調査対象事業所の内容

〈製造業〉

業種別内訳 30事業所

業種	事業所数	割合%
食料品製造業	6	20.0
飲料・資料・たばこ製造業	1	3.3
繊維工業	0	0.0
衣服・その他繊維製品製造業	1	3.3
木材・木製品製造業	0	0.0
家具・装備品製造業	1	3.3
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	2	6.7
化学工業	0	0.0
プラスチック製品製造業	1	3.3
窯業・土石製品製造業	1	3.3
金属製品製造業	3	10.0
一般機械器具製造業	1	3.3
電気機械器具製造業	1	3.3
輸送用機械器具製造業	4	13.3
精密機械器具製造業	1	3.3
その他の製造業	7	23.3

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	13	43.3
3人以上～5人以下	7	23.3
6人以上～10人以下	5	16.7
11人以上～20人以下	3	10.0
21人以上～50人以下	1	3.3
51人以上～100人以下	0	0.0
101人以上	1	3.3

〈建設業〉

業種別内訳 21事業所

業種	事業所数	割合%
総合工事業	11	52.4
職別工事業	7	33.3
設備工事業	3	14.3

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	9	42.9
3人以上～5人以下	6	28.6
6人以上～10人以下	4	19.0
11人以上～20人以下	1	4.8
21人以上～50人以下	1	4.8
51人以上～100人以下	0	0.0
100人以上	0	0.0

〈小売業〉

業種別内訳 40事業所

業種	事業所数	割合%
各種商品小売業	1	2.5
織物・衣服・身の回り品小売業	6	15.0
飲食料品小売業	14	35.0
自動車・自転車小売業	3	7.5
家具・建具・じゅう器小売業	3	7.5
その他小売業	13	32.5

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	33	82.5
3人以上～5人以下	7	17.5
6人以上～10人以下	0	0.0
11人以上～21人以下	0	0.0
21人以上	0	0.0

〈サービス業〉

業種別内訳 58事業所

業種	事業所数	割合%
一般飲食業（一般・遊興）	23	39.7
宿泊業	2	3.4
運輸業	2	3.4
自動車整備業	4	6.9
洗濯・理美容業	15	25.9
その他サービス業	12	20.7

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	43	74.1
3人以上～5人以下	13	22.4
6人以上～10人以下	2	3.4
11人以上～21人以下	0	0.0
21人以上	0	0

第 1 4 4 回中小企業景況調査報告書

平成 2 7 年 4 月～ 6 月期報告

平成 2 7 年 7 月～ 9 月期予想

編集：栃木県商工会連合会 顔晴る企業応援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央 3 丁目 1 番 4 号

TEL 028-637-3731 FAX 028-637-2875

印刷所：(株)松井ピ・テ・オ・印刷
